

謹

賀

新

年



美祢市長 村田 弘司

美祢市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新春を健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、市政に対し格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、年明けとともにNHK大河ドラマで『花燃ゆ』の放送が始まり、7月には「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されるなど、山口県にとって活気づく1年であったといえます。

また、10月には大村、梶田両氏のノーベル賞受賞が決定し、さらに、ラグビーW杯で日本が大活躍するなど、日本が明るく、そして、日本人の誇りを意識するニュースに出合った年でした。

そうした中、本市においては、9月4日に市全域が「Mine秋吉台ジオパーク」として日本ジオパークに認定され、大きな喜びと感動を得ることができました。

この認定は、市民の皆様力が結集した証であり、民・産・学・官が一体となって獲得したものです。

市民の皆様には、本市の素晴らしさを改めて誇りに思われ、大きな自信をお持ちいただくことができたのではないのでしょうか。

今まさに、ジオパーク（地球公園）のスタートラインに立ち、地域活性化、人口定住にも繋がる本市の新たな希望の扉を開くことができました。

私は、これまでのジオパークの取り組みによってパワーアップした市民力を、さらなる市勢発展に結びつけて参りたいと決意しております。

ところで、今、日本は、急速な人口減少の時代潮流の中にあり、中山間地域にある本市は、確かに少子高齢化や農地の荒廃化、担い手問題など厳しい諸課題に直面しています。

しかしながら、私は、美祢市が悲観のみに陥ってはならないと考えています。本市には、東京のような大都市には無い素晴らしい地域資源、宝があります。

日本列島の起源ともいえる秋吉台を中心とした石灰岩、日本の歴史を創った日本最古の公営銅山長登、そして、近代日本の原動力であった日本最大の無煙炭鉱跡、これら比類なき地質資源を有する大地の上には、緑豊かな峰々、美しい田畑に囲まれた自然、そして、何よりこれらを支える心豊かな市民の皆様が存在です。

私は、かねてより衰退してゆく地域というのは、自分達の暮らすところに失望し自信をなくし、しいて言えは未来を見ることが出来なくなったところだと思っております。

逆にいえば、市民の方々が地域によせる誇り、自信、そして次代へつなげてゆく未来への希望を持って頂くことこそが、地域に活力を与える源であると考えております。

最大の課題であった市の財政問題を完全に解決し、合併後9年目を迎える今年、新市発足以来取り組み続けた、将来世代に夢と希望を抱けるような施策の効果が萌芽しているときにあります。

本年は、昨年策定した市政運営の指針となる「市総合計画・後期基本計画」及び「市総合戦略」に掲げた施策・事業を加速させ、人口減少時代に適応したまちづくりに向けて、市民の皆様福祉向上と更なる行財政改革を推し進め、明るい将来に向けこれまで蒔いた種の芽が、大きく逞しく育っていく年になるよう、力を注いでまいりますので、本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新年が市民の皆様、そして美祢市にとりまして、素晴らしい年になりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 の ご あ い さ つ

美祢市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成28年の年頭に当たり、美祢市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を、お健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、本年4月には私ども議員は4年の任期が満了し、選挙が執行されることとなります。市民の皆様にはすでにご案内のとおり、議員定数は現在の19人を3人削減し、16人にすることにいたしております。定数については議会改革推進特別委員会を設置のうえ、定数の適正化について調査を付託し、この中で、市の財政状況や人口、市域の広さや近隣他市の定数等を参考に協議を重ね、特別委員長から「議員定数を16人若しくは17人とする」との報告を受けました。これを受け、議長の私から議会運営委員会に諮問し、定数を16人にすることの答申を受け、昨年3月議会において議決したところであります。市民の皆様には、このような経緯で、議員定数について協議・決定されたことを、ご理解賜りたいと存じます。

現在国においては地方創生に取り組んでおります。これは都市部への企業や人の一極集中を是正し、地方が元気になることで、国全体が発展しようとするものであります。これを受け本市では「美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を関係各位のご協力により策定し、本市の特性を活かしながら、定住人口の拡大や雇用の創出などを推進することにしております。

このように今、地方自治体は地域間競争の時代に入っており、自己の責任において地域の特色やアイデアを活かしたまちづくりが求められております。これを押し進める大きな柱として、「Mine秋吉台ジオパーク」として世界ジオパークの認定に向けた施策を展開しており、昨年9月にはその通過点として、日本ジオパークの認定を受けることができました。私たちが石灰石に代表される地質資源を、関係者が一体になり、保全・教育・地域振興に結びつけることは、本市で生まれ育つことに自信と誇りが持てることにつながるものと考えております。

市議会は第一に、住民を代表する公選の議員をもって構成され、本市の具体的政策を最終的に決定し、また意見書・要望決議や、議員立法で条例を制定することで直接的に政策形成を行うことです。

第二として、議会の決定したことを執行部が執る行財政運営、事務処理や事業の実施が適法・適正に、しかも公平・公正、効率的になされているかどうかを、住民の立場に立って監視することです。

議会は諸問題を迅速に解決し、市民の皆様が安全で安心にお暮らしいただきながら、活力と潤いに満ちたまちづくりを推し進めるための議会となるべく、執行部との両輪で諸政策をスピード感をもって実行して参ります。

結びにあたり、議会活動に対しましてより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を、議員一同心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのごあいさつといたします。



美祢市議会議長 秋山 哲朗